

色 材 マ テ リ ア ル 講 座

「～ “くっついて剥がれない” だけじゃない技術～」

主催 一般社団法人 色材協会 関西支部
協賛 応用物理学会・高分子学会・日本化学会・日本顔料技術協会・日本材料学会関西支部・日本セラミックス協会
日本塗装技術協会・日本塗料工業会・日本粉体技術協会・日本溶射学会・表面技術協会・日本接着学会

接着剤とコーティング剤は、高分子架橋がポイントであるところは同じですが、『環境に直接さらされるか否かが異なる』『求められる接着強度が異なる』ため技術交流があまりなされていないように思われます。

本講座では～ “くっついて剥がれない” だけじゃない技術～と題して、日本を代表するメーカーの方々に実際の現場で求められる接着・硬化に関する技術と、新たな機能の実現に向けた研究をご紹介します。また、大阪府立大学の松本先生に最近の研究をご紹介します。松本先生は日本接着学会の関西支部長でいらっしゃいますが、高分子学会の『接着と塗装研究会』の運営委員も務めておられますので、接着剤とコーティングに跨ったご講演をいただけたと思います。

コーティング分野の中堅技術者の方には最新技術情報の、既にこの技術分野でご活躍の方々には開発のヒントの取得のチャンスとしてご活用いただけたと思います。奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

日 時：平成 30 年 2 月 7 日(水) (9:50 ～ 16:40)

会 場：大阪産業創造館 (6 階) 会議室 E (大阪市中央区本町 1 丁目 4 番 5 号 Tel : 06-6264-9888)

- (1) 大阪市営中央線 堺筋本町 1 号出口 徒歩 5 分
- (2) 大阪市営堺筋線 堺筋本町 12 号出口 徒歩 5 分

演題・講師 (講師・講演内容・講演順序は変更になることがあります)

9:50～11:00 UV硬化の基礎と硬化不良・硬化収縮対策

1. UV硬化技術の基礎
2. UV硬化材料の特徴
3. UV硬化材料の選択指針・配合設計のノウハウ
4. UV硬化で発生する不具合とその解決方法

日本ペイント・インダストリアルコーティングス (株) 第二塗料事業本部 F P 技術部 リーダー 肥田 敬治

<http://nipponpaint-industrial.com/>

11:20～12:30 四国化成の樹脂硬化剤・架橋剤 (仮題)

1. 硬化剤
2. 架橋剤
3. イミダゾール
4. グリコールウリル
5. 密着性付与剤

四国化成工業株式会社 機能材料チーム リーダー 熊野 岳

<https://www.shikoku.co.jp/products/chemical/resin-additive.php>

13:40～14:50 接着剤で利用される硬化系とその特性

1. 接着剤
2. 硬化反応
3. 接着剤の選び方

コニシ株式会社 浦和研究所 研究開発第一部 マネージャー 大河原 義明

<http://www.bond.co.jp/koko/>

15:10～16:40 高分子の分解と架橋を利用した高機能接着材料の設計

1. 易解体性接着
2. オゾン分解
3. 異種材料接着
4. エポキシモノリス
5. 高分子構造制御

大阪府立大学大学院工学研究科 物質・化学系専攻応用化学分野 教授 松本 章一

<http://www.chem.osakafu-u.ac.jp/ohka/ohka7/research/>

受講料：会員・協賛学協会会員共 20,600 円・会員外 25,700 円・学生 3,100 円 (テキスト代, 消費税含む)

定員：50 名 申込締切：平成 30 年 1 月 31 日(水) (定員になり次第締め切らせて頂きます。)

申込方法：下記申込書先にご連絡ください。

支払方法：銀行振込、郵便振替のいずれかでお振込み下さい。

銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行船場中央支店・普通預金 No. 0171831 , 郵便振替口座 No. 00910-9-59939

名義：一般社団法人 色材協会 関西支部

※銀行・郵便振替の領収証をもって本会からの領収証にかえさせていただきます。

※振込手数料は振込人にてご負担いただきますようお願いいたします。

申込先：一般社団法人 色材協会 関西支部 〒530-0044 大阪市北区東天満 1-9-10 大阪塗料ビル 2 階

(TEL : 06-6356-0700 FAX : 06-6356-0711 E-mail:kansai@jscm.or.jp)